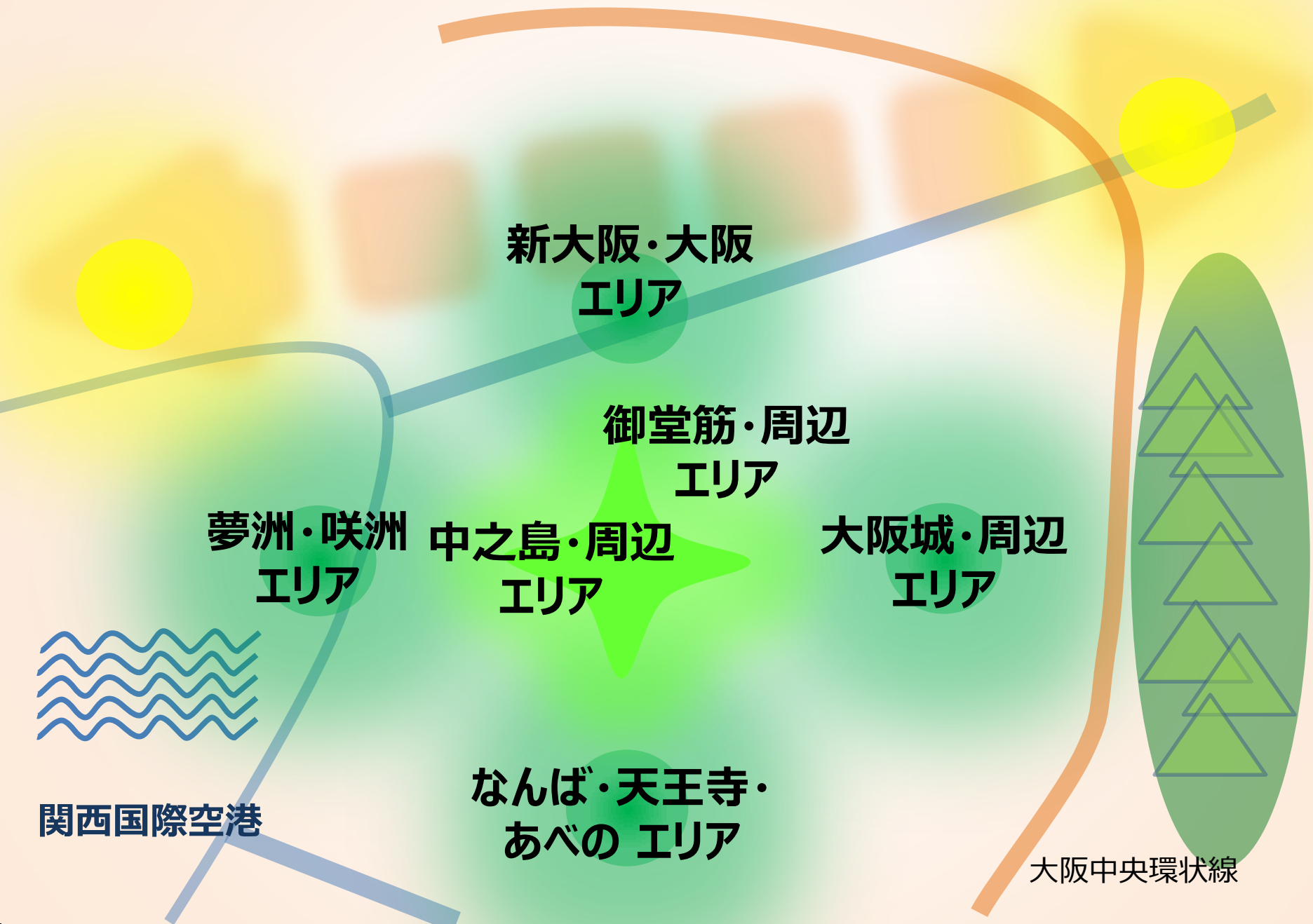


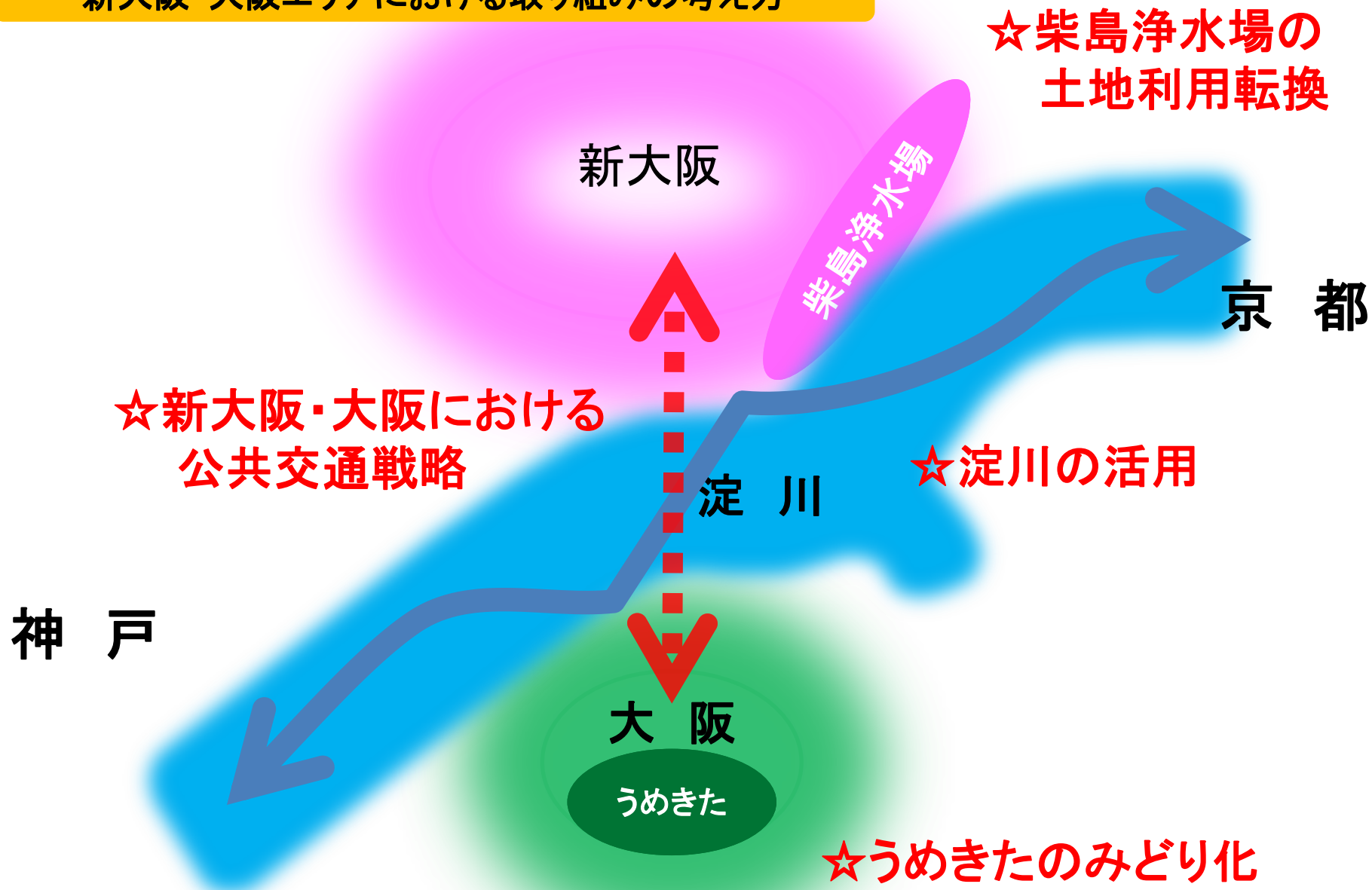
資料3

「グランド・デザイン大阪」の推進について

各エリアの取り組み



新大阪・大阪エリアにおける取り組みの考え方



☆うめきたのみどり化

- ・大規模なみどりの確保
- ・みどりを活かすエリアマネジメントの先進実施

☆新大阪・大阪における公共交通戦略

- ・広域交通ネットワークを意識したターミナル戦略の実施
(東海道線支線地下化・新駅設置、西梅田十三・新大阪連絡線)
- ・LRTなど新大阪・大阪をつなぐ公共交通の強化
- ・リニア中央新幹線の早期開業(周辺エリアのまちづくり検討)

☆淀川の活用(物理的・心理的一体感)

- ・舟運(ベイエリア～中津～新大阪～柴島～寝屋川・枚方～
京都に至る新たな舟運)
- ・サイクリングロード など

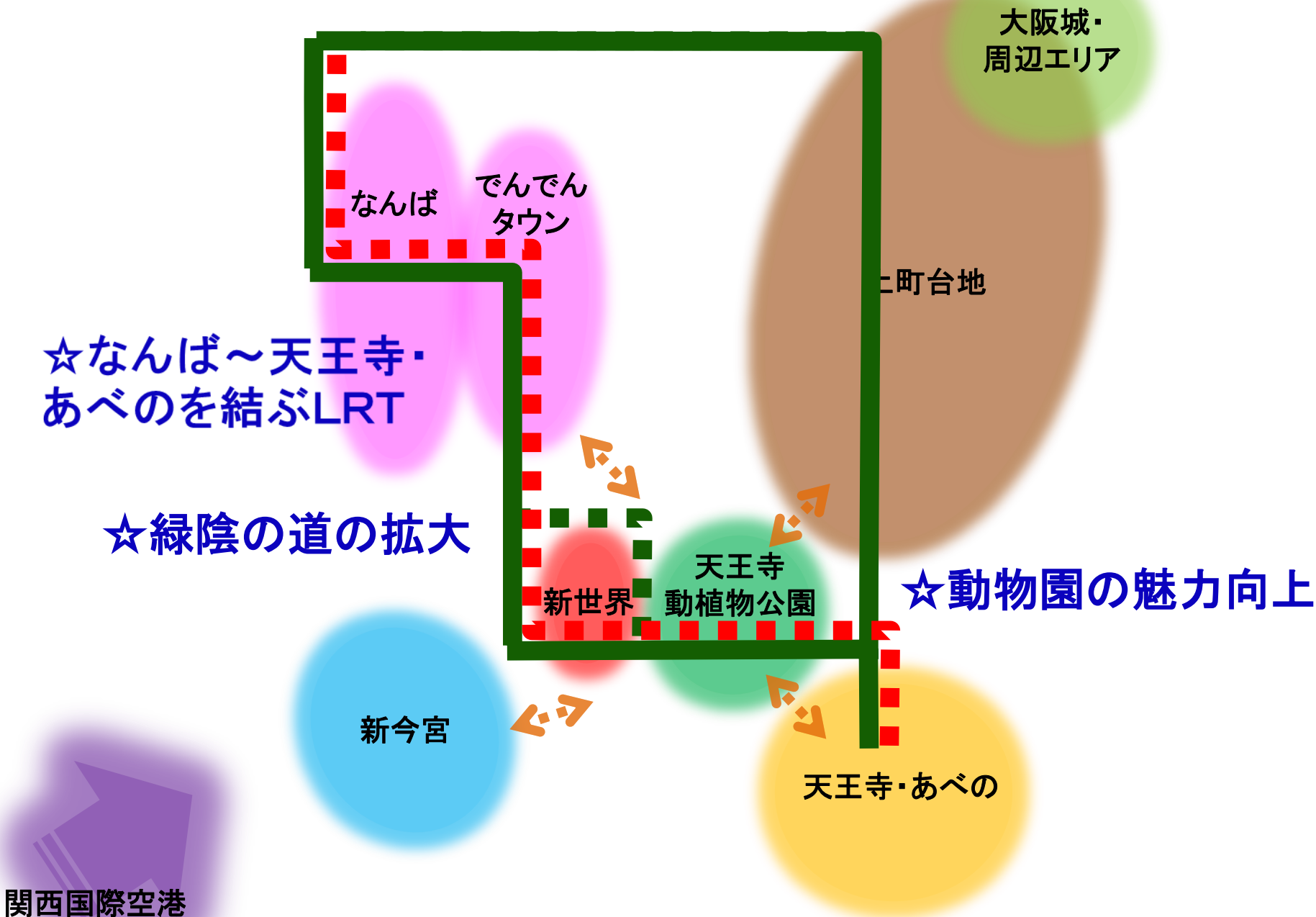
☆柴島浄水場の土地利用転換

- ・新大阪駅、阪急諸駅直近、淀川に隣接する好立地を活かした都市魅力施設への転換
(例) 国際見本市会場、コンベンション施設、総合大学など

今後の主な取り組みスケジュール(案)

	2015		2025	
うめきたの みどり化	2期区域方針 確定	更地化 関係者調整	整備	
新大阪・大阪に おける公共交通 戦略	JR支線地下化 方策確定	関係者調整 法手続き等	整備	供用
	西梅田十三・新大阪連絡線等検討		関係者協議 法手続き等	整備
淀川の活用	淀川大堰閘門 設置計画策定	詳細設計等 舟運構想策定	整備 関係者調整	舟運開始
柴島浄水場の 土地利用転換	水道統合協議を踏まえた土地利用転換 及び民間活力(プロポーザル等)の検討			

※項目、スケジュールは想定であり、今後詳細な検討が必要



☆動物園の魅力向上

- ・生態的展示で世界一の都市型動物園へ

☆難波周辺の賑わい創出

- ・歩行者優先の賑わい空間の創出
- ・難波駅前のみどり化

☆緑陰の道の拡大

- ・動物園から広がる緑陰の道を、なんば、天王寺、上町台地につなぐ。

☆なんば～天王寺・あべのを結ぶLRT

- ・なんば、動物園、天王寺・あべのをつなぐLRT
(当面、恵美須町～なんば までを先行)

今後の主な取り組みスケジュール(案)

	2015	2025
動物園の 魅力向上	極地海洋ゾーン他整備 バス駐車場等による集客力の向上 イベントの開催等による周辺との 連携、エリアブランドの向上	
難波駅周辺の 賑わい創出 (難波駅前の みどり化)	基本構想 関係者協議 整備計画	整備
緑陰の道の 拡大	基本構想 整備計画 維持管理計画	整備 部分供用
LRTの整備	基本構想 ルート決定 事業者決定	整備 先行区間 開業

※項目、スケジュールは想定であり、今後詳細な検討が必要

大阪城・周辺エリアにおける取り組みの考え方

☆天満橋周辺からのアクセス性、迎賓機能の向上

大 川

天満橋

網島(市公館等)

寝屋川

第二寝屋川

☆大阪城公園の活性化 大阪城公園

☆東部地区の活用

NHK跡地
難波宮跡公園

- 大阪城公園
東部地区
- ・JR森ノ宮電車区
 - ・地下鉄検車場
 - ・森之宮工場
 - ・UR森之宮団地
 - ・成人病センター

☆難波宮跡公園の活用

☆大阪城公園の活性化

- ・旧第四師団司令部、旧砲兵工廠建物の用途転用（観光利用）
- ・広大な公園内をめぐる交通手段の提供 など

☆難波宮跡公園の活用

- ・歴史的遺産を活かした難波宮跡公園の整備

☆東部地区の活用

- ・JR電車区、地下鉄の検車場の土地利用転換
- ・JR大阪城公園駅と一体となったにぎわい施設等の立地

☆天満橋周辺からのアクセス性の向上

- ・民間活力を活用した大川沿いの歩行動線の確保。
- ・市公館並びに周辺の風情を活かした迎賓機能の充実

今後の主な取り組みスケジュール(案)

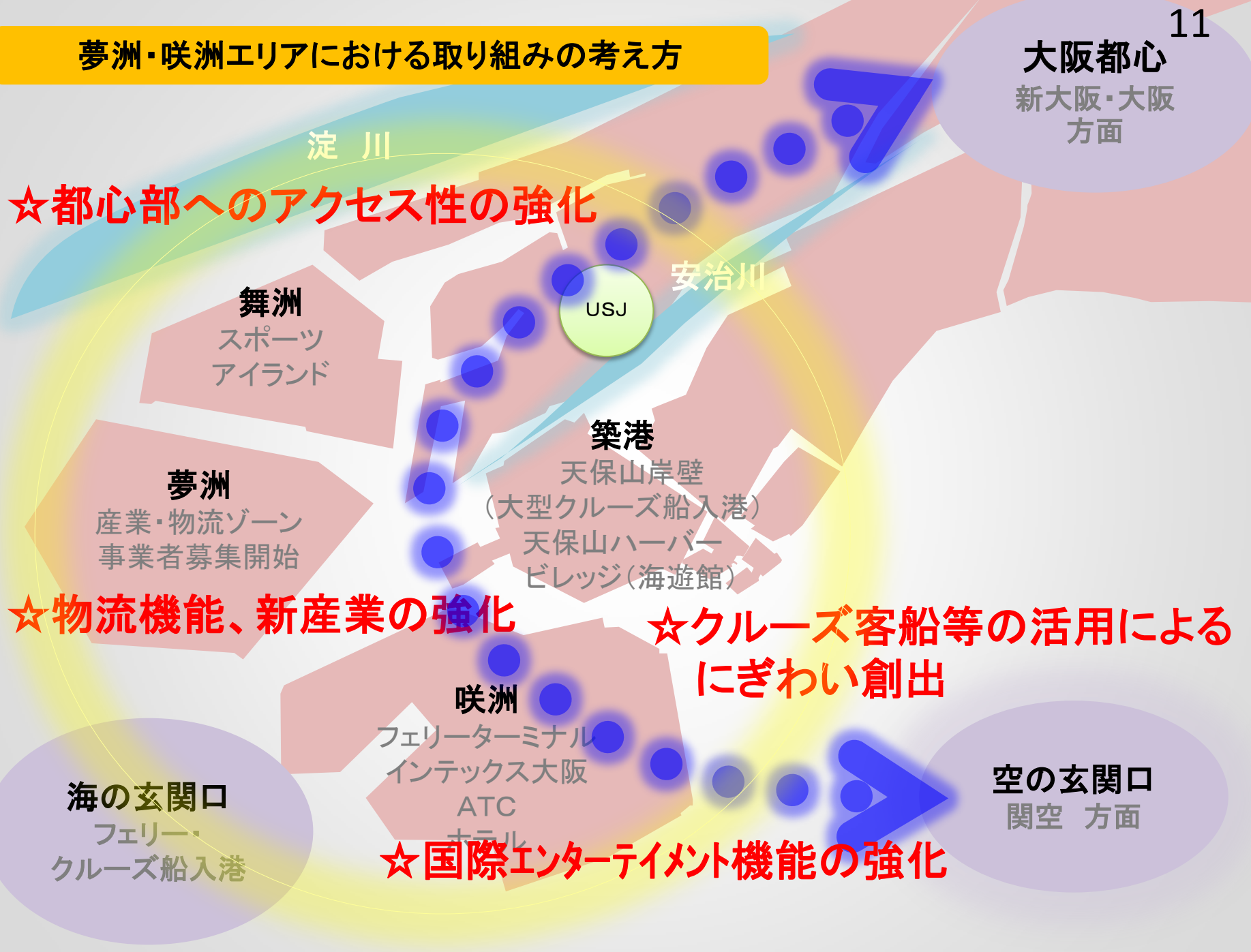
	2015	2025
大阪城公園の 活性化	パークマネジメント検討、 事業者募集・選定	パークマネジメント運営 旧第四師団司令部等観光利用
難波宮跡公園 の活用	整備・活用に 向けた検討 整備計画	整備 供用
東部地区の 土地利用転換	土地利用転換 方策の検討 土地利用構想	整備計画 整備 供用
天満橋周辺か らのアクセス性 の強化	基本構想 整備計画	整備 供用

※項目、スケジュールは想定であり、今後詳細な検討が必要

夢洲・咲洲エリアにおける取り組みの考え方

大阪都心
新大阪・大阪
方面

☆都心部へのアクセス性の強化



舞洲
スポーツ
アイランド

USJ

安治川

築港

天保山岸壁
(大型クルーズ船入港)
天保山ハーバー
ビレッジ(海遊館)

夢洲

産業・物流ゾーン
事業者募集開始

☆物流機能、新産業の強化

☆クルーズ客船等の活用による
にぎわい創出

咲洲

フェリーターミナル
インテックス大阪
ATC
ホテル

海の玄関口
フェリー・
クルーズ船入港

空の玄関口
関空 方面

☆国際エンターテイメント機能の強化

☆物流機能、新産業の強化

- ・国際コンテナ戦略港湾による物流機能の強化
- ・国際戦略総合特区(規制緩和・地方税の軽減措置など)等による環境技術、新エネルギー産業の生産拠点の集積

☆クルーズ客船等の活用によるにぎわい創出

- ・クルーズ用ターミナルの整備(天保山岸壁)
- ・フェリーターミナル集約化(ATC前)

☆国際観光エンターテインメント機能の強化

☆都心部へのアクセス性の強化

- ・JR桜島線の延伸、京阪中之島線延伸による都心部とのアクセス性の向上

今後の主な取り組みスケジュール(案)

	2015	2025
物流機能、 新産業の強化	<p>物流機能の強化 (国際コンテナ戦略港湾の推進)</p> <p>特区エリア「地方税5年間ゼロ+引き続く5年間1/2」 (議会審議予定)</p> <p>特区のインセンティブを活用した企業の立地促進</p>	
クルーズ客船等の 活用によるにぎ わい創出	<p>ターミナル整備 インセンティブ検討</p> <p>拠点化</p>	クルーズ客船等の活用による にぎわい創出
国際観光 エンターテイメント 機能の強化	<p>国際観光エンターテイメント機能の強化に向けた検討</p> <p>鉄道延伸に伴う新駅周辺の活用方策検討</p>	
都心部への アクセス性の 強化	<p>JR桜島線 基本ルート 等検討</p> <p>延伸事業計画 の具体化</p>	延伸事業化

※項目、スケジュールは想定であり、今後詳細な検討が必要

御堂筋・周辺エリアにおける取り組みの考え方



☆居住機能の充実

☆景観のルール作り

☆近代建築、歴史的建築物の活用

☆御堂筋の全面みどり化



☆景観のルール作り・居住機能の充実

- ・御堂筋の風格ある景観と両立する、高さ規制を検討
- ・御堂筋沿道のクオリティの高いにぎわい空間の形成
- ・周辺地域も含めた居住(滞在)機能の充実

☆近代建築、歴史的建築物の活用

- ・大大阪時代の建築物を再生活用

☆御堂筋の全面みどり化

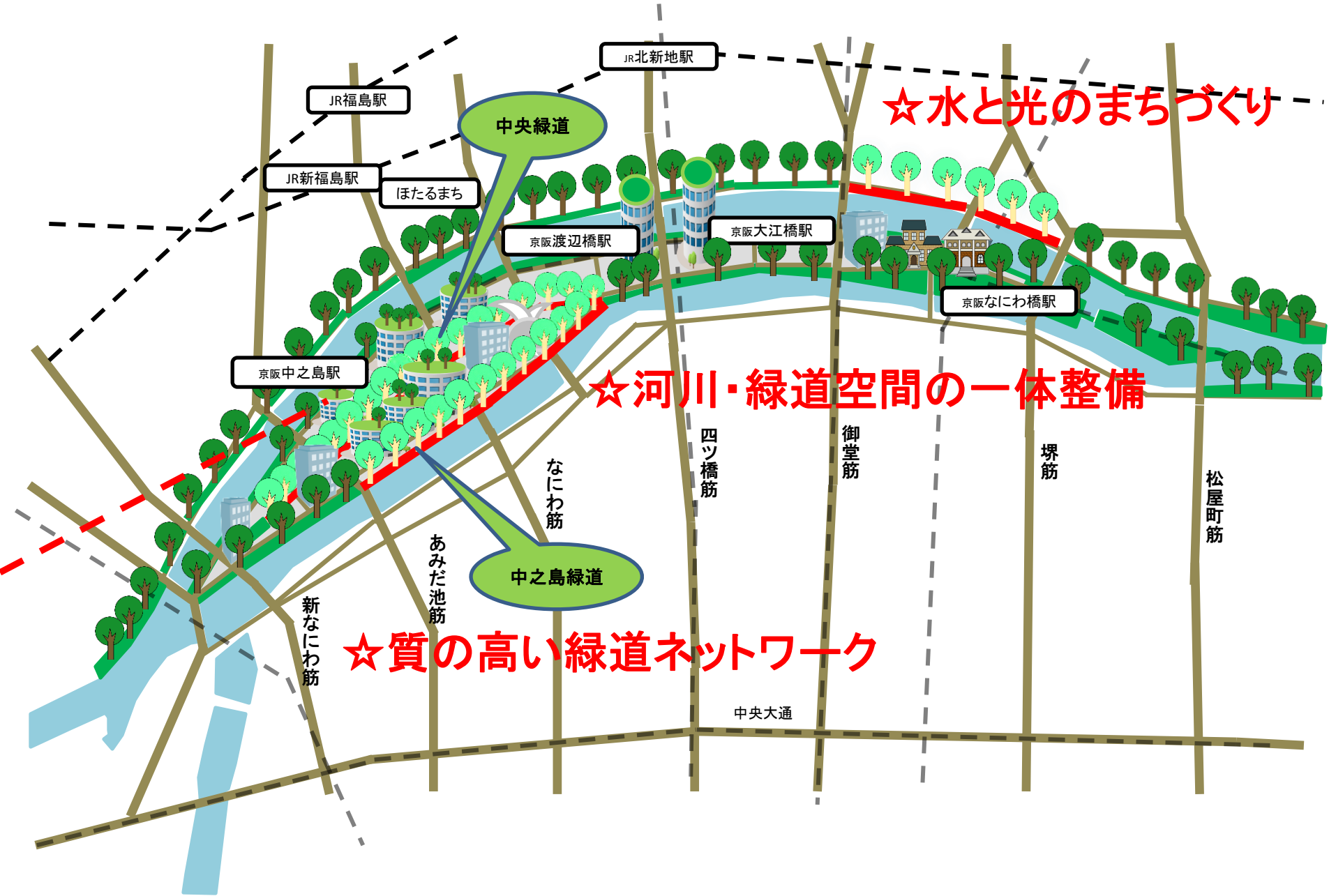
- ・緩速車線の歩行者空間化の早期実現
(全面みどり化までの当面の取り組み)
- ・御堂筋kappoなどで、全面みどり化の魅力アピール
- ・都心部自動車交通流の見直しを踏まえた交通ネットワーク戦略
- ・なんば～新大阪に至るLRT整備

今後の主な取り組みスケジュール(案)

	2015	2025
景観のルール作り ・ 居住機能の充実	制度設計	関係者調整・制度施行・適用プロジェクト始動
近代建築・ 歴史的建築物 の活用	制度設計	関係者調整・制度施行・適用プロジェクト始動
御堂筋の 全面みどり化 (緩速車線の歩 行者空間化)	交通処理計画 空間利用構想 調査・実証実験 空間利用構想	整備 部分 供用 LRT事業者決定

※項目、スケジュールは想定であり、今後詳細な検討が必要

中之島・周辺エリアにおける取り組みの考え方



☆水と光のまちづくり

- ・中之島にぎわいの森事業の推進
- ・橋上空間の多目的活用(中之島ガーデンブリッジなど)

☆質の高い緑道ネットワーク

- ・中之島中央緑道の整備促進(中之島一帯を結ぶ緑道)
- ・立地企業によるエリアマネジメント⇒質の高いみどりの創出、提供、維持

☆河川・緑道空間の一体整備

- ・河川区域、緑道区域の区別をなくし、管理区分を超えた水辺とまちの一体的なみどりの創出
- ・河川の柔軟な活用や高規格堤防による、親水空間の創出
- ・エリアマネジメントによるにぎわいの創出

今後の主な取り組みスケジュール(案)

		2015	2025
水と光の まちづくり	整備 社会実験	完成	
質の高い 緑道ネットワーク	基本構想策定 整備計画策定 維持管理計画・仕組みづくり		整備
河川・緑道空間 の整備	基本構想策定 整備計画策定 維持管理計画・仕組みづくり		整備

※項目、スケジュールは想定であり、今後詳細な検討が必要

インフラの活用・整備 『みどり』

みどりの風を感じる
大都市のイメージ



(例示-1) 御堂筋の全面みどり化

計画概要・課題・対応方針

〔概要〕

○御堂筋を全面緑化により、人中心の賑わい空間を形成。

〔課題〕

○「大阪都市再生環状道路の整備・活用」と「阪神高速環状線・都心部平面道路等の活用」を前提とした交通整理
 ○地元理解の醸成、事業スキームの整理など

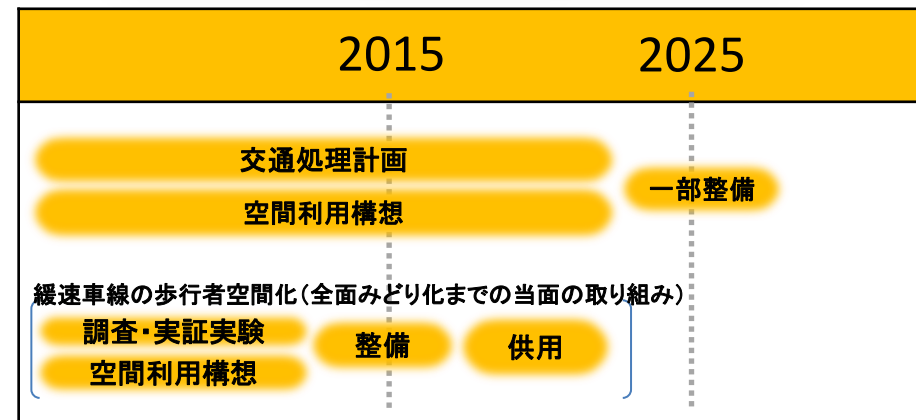
〔方針案〕

○交通シミュレーションや効果把握、社会実験の実施など。

〔当面の取組み〕

・H24年～ 調査、ヒヤリング
 ・H25年～ 交通処理計画、空間利用構想など

検討イメージとスケジュール



(例示一2) 実感できるみどりの創出「大阪の玄関口の緑化」

計画概要・課題・対応方針

〔概要〕

○府民が実感できるみどりを創出するため主要駅周辺などの賑わいスポットのみどり化を進める。

〔課題〕

○民間資金の導入など、多様な手法による緑化を進める。

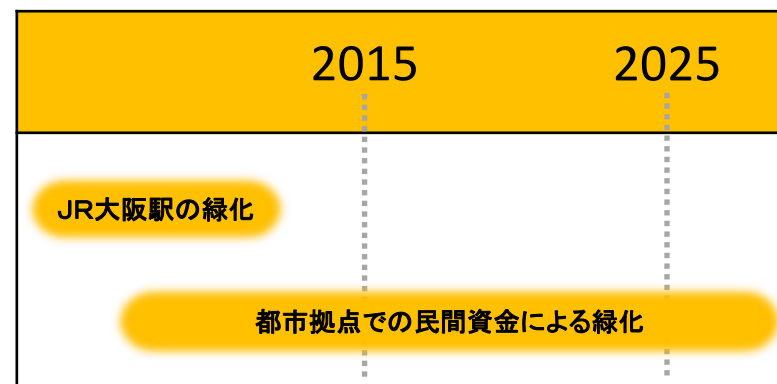
〔方針案〕

○ネーミングライツ方式などによる緑化を都心で展開

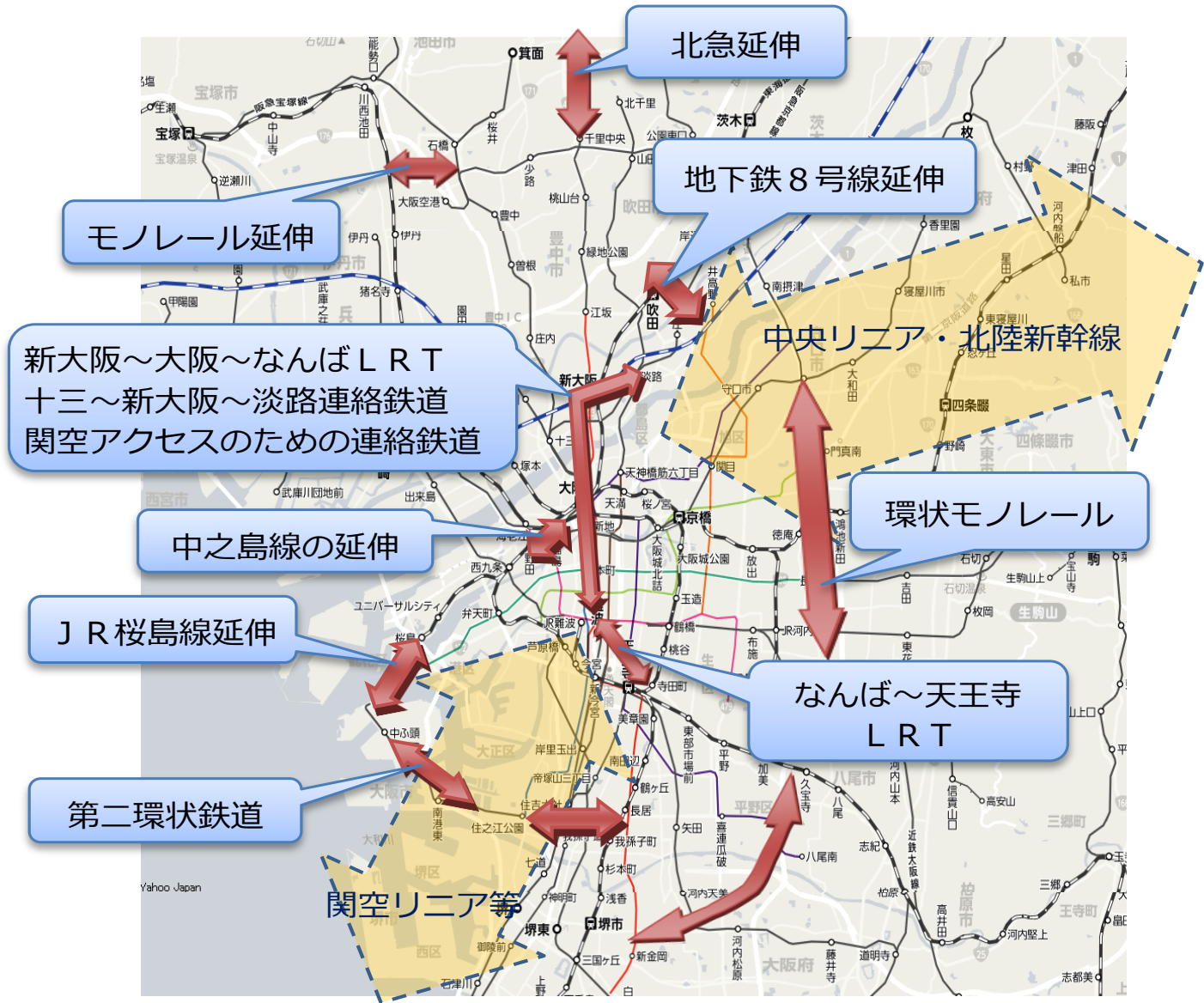
〔当面の取組み〕

- ・H24年 JR新大阪駅(ネーミングライツ)
- ・H25年～都市拠点での民間資金による緑化

検討イメージとスケジュール



鉄道ネットワーク図 (グランドデザイン・大阪)



インフラの活用・整備 『鉄道ネットワーク』

(例示-1) なんば～天王寺LRT

計画概要・課題・対応方針

【概要】

- あべのハルカス完成や天王寺動物園の集客力強化などのにぎわい創出にあわせ、周辺の観光資源と連携したLRTの導入を推進
- 検討対象：天王寺～なんば（2.7km）

【課題】

- 事業成立条件の整備
 - 官民連携スキームの導入
 - ・交通規制と周辺街路運用、ネーミングライツ活用、新たな資金調達手法など

【方針案】

- 現行事業者との協議・調整
- エリアデザイン推進とあわせ、既存の阪堺線を活用した第一期整備計画案を検討（えびす町～日本橋方面）

<当面の取組み>

- ・H24年 8月～9月 現地踏査、ヒアリング
- ・10月～ 交通量分析、基本ルート等の検討
- ・H25年 4月～ LRT事業計画等の検討、第一期整備計画案の検討（えびす町～日本橋方面）

検討イメージとスケジュール

(注) ルート案は例示（未調整）



(例示-2) JR桜島線延伸

計画概要・課題・対応方針

【概要】

- 海の玄関口として環境・新エネルギー産業誘致や国際観光エンターテイメント立地をめざす当該エリアのアクセス向上を図る。
- JR桜島駅からニュートラムのトレードセンター前駅までの約4km延伸
 - 咲州と都心を約20分で直結。
 - ※第二環状鉄道としてさらなる延伸も検討

【課題】

- 事業成立条件の整備
 - 利用需要喚起、増大方策
 - 事業費確保、新たな整備スキームの構築

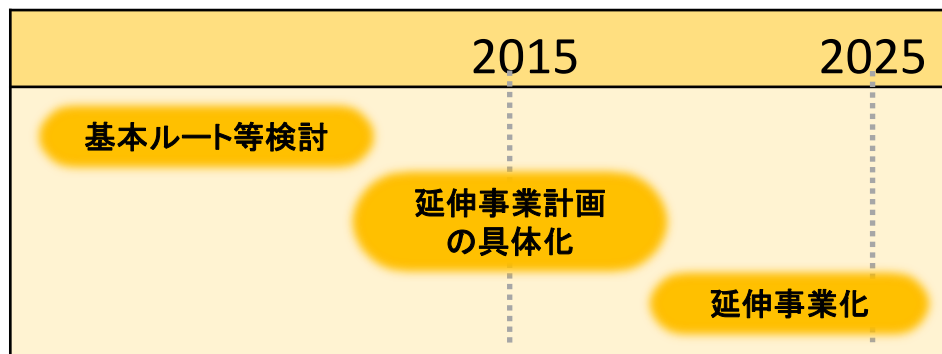
【方針案】

- 現行事業者との協議・調整
- 夢州・咲州エリアデザインの推進

<当面の取組み>

- ・ H24年 8月～9月 現地踏査、ヒアリング
- ・ 10月～ 需要分析、基本ルート等の検討
- ・ H25年 4月～ 延伸事業計画等の検討、関係者の役割分担、新たな整備スキーム検討

検討イメージとスケジュール



「グランドデザイン・大阪」の実現に向けた戦略

主な項目	現状・課題	検討の方向性（案）
1. エリア マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の収益基盤が弱く、活動に制約 ・エリア内企業等の費用負担が得にくい ・公共空間の利用規制 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な収益構造 ・B I Dなどの制度充実 ・ネーミングライツ等の活用策
2. みどり	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの実感、ネットワークの乏しさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生育空間の確保、計画的剪定 ・目に見えるみどり拡大
3. インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者、行政とも財源確保が困難 ・乗継ぎや料金が利用者にとって不便 	<ul style="list-style-type: none"> ・需要喚起、資金調達法 ・一体的な運営手法など
4. 景観	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化事業の促進 ・建築物、広告物、公共空間の調和 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな事業スキーム ・より質の高い景観誘導
5. 規制緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・航空法による高さ規制等 	<ul style="list-style-type: none"> ・規制緩和、特例措置
6. 土地活用	<ul style="list-style-type: none"> ・都心や駅前でも低未利用地が存在 ・公有地の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地情報の集約、活用方法の検討など
7. 都市防災	<ul style="list-style-type: none"> ・都市の安全性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体の防災体制 ・エリア単位の安全確保

『民間投資を呼び込む仕組みづくり』 27

- 行政による一律規制の弾力的見直しを図るなど、民間が活動しやすい環境を整え、官民の密接な連携のもと「グランドデザイン・大阪」の推進を図る。

経済団体

- ◇経済界としての提言、活動
- ◇民間ノウハウや資金活用の提案
- ◇制度改革や規制緩和ニーズの提示
- ◇企業誘致、みどり化等の促進 など

民間事業者など

- ◇エリア・デザインの具体化、推進
- ◇事業採算性の検討、課題の提示
- ◇事業計画の立案、実行
- ◇事業コンペ等への参画
- ◇人材の提供 など

密接な連携

大阪府・大阪市

- ◇広域的な方向性の提示、コーディネート、民間主体の取組み支援
- ◇インフラの充実、都市空間創造に向けた政策の推進
- ◇デザイン提案や事業コンペ実施など、民間ノウハウ・資金の積極的導入
- ◇規制緩和や税制措置などのインセンティブ、民間が参入しやすい環境づくり
- ◇制度改善等に関する国への提案、社会への働きかけ、世界への情報発信 など